

バルセロナ

PR冊子
2008

Turisme de Barcelona
Rambla de Catalunya, 123
08008 Barcelona
Tel. 93 368 97 00
Fax. 93 368 97 01
www.barcelonaturisme.cat
press@barcelonaturisme.com
prensa@barcelonaturisme.com

目次

バルセロナ観光に関する統計資料	2 ページ
地中海の中心地	3 ページ
都市観光の目的地	5 ページ
ランキング	6 ページ
カタルーニャ音楽堂の 100 周年祭	7 ページ
文化の街	10 ページ
地中海料理:大きな魅力	11 ページ
ショッピング:一味違う魅力	14 ページ
コンベンション;効率と創造性	15 ページ
堅実な経済基盤	16 ページ
ヨーロッパのクルーズ船の主要寄港	17 ページ
スポーツ	18 ページ
最新情報	19 ページ
カルチャープロジェクト	20 ページ
インフラ整備状況	22 ページ
文化の街 バルセロナ 2000-2004	23 ページ
バルセロナ文化フォーラム 2004	26 ページ
『食』をテーマにした“バルセロナ・ガストロノミー・イヤー” 2005-06	28 ページ
バルセロナ観光局	29 ページ
バルセロナを楽しむ	29 ページ

バルセロナ観光に関する統計資料

	1990	1995	2000	2003	2004	2005	2006*
観光客	1.732.902	3.089.974	3.141.162	3.848.187	4.549.587	5.061.264	6.709.175
宿泊客	3.795.522	5.674.580	7.777.580	9.102.090	10.148.238	10.941.579	13.198.982

満室率	71,0%	63,6%	84,0%	76,7%	75,5%	76,0%	77,7%
-----	-------	-------	-------	-------	--------------	--------------	-------

訪問目的							
休暇	22,7%	35,3%	51,5%	45,8%	47,1%	42,1%	-
ビジネス、会議および博覧会	69,1%	55,9%	45,7%	50,8%	50,1%	53,5%	-
その他	8,2%	8,8%	2,8%	3,4%	2,8%	4,4%	-

(*)出発国							
スペイン国内	51,2%	37,0%	31,3%	32,0%	32,0%	30,8%	30,0%
イギリス	4,1%	7,2%	11,6%	13,0%	13,6%	12,6%	11,4%
イタリア	6,1%	5,0%	6,2%	6,6%	7,8%	8,4%	9,1%
アメリカ	5,9%	9,5%	14,5%	7,4%	7,1%	7,6%	7,2%
フランス	7,3%	7,7%	5,1%	6,7%	6,6%	6,4%	6,7%
ドイツ	3,4%	6,2%	5,7%	5,0%	5,1%	5,2%	5,3%
その他	22,0%	27,4%	25,6%	29,3%	27,8%	29,0%	30,3%

航空機利用による旅客	9.048.657	11.727.814	19.808.812	22.752.820	24.558.411	30.008.152
船舶利用による旅客	115.137	233.389	572.571	1.053.896	1.024.851	1.407.179

文化・レジャー設備訪問者	-	9.103.586	14.052.339	15.965.533	17.198.994	19.900.000
市内観光バス利用者	-	131.600	873.611	1.258.490	1.474.954	1.873.670

ホテル数	118	160	187	232	255	285
客室数	10.265	15.076	16.561	20.582	23.739	26.968
ベッド数	18.569	27.988	31.338	39.632	45.286	52.484

(*)1990年－2000年出典:バルセロナ観光局。 2000年－2004年出典:バルセロナ観光局および Idescat (カタルーニャ統計局)、スペイン統計院 (INE) のデータ使用。

地中海の中心地

バルセロナは2000年前に街ができてから、地中海の大メトロポリスとしての資質を持ち合わせています。海と山にはさまれ、イベリア半島の中でも非常に恵まれたところに位置しており、カタルーニャ州の州都であり、また古くからスペインの玄関口でもあります。

年間を通じて温暖な気候であるため、日夜それぞれの時間帯にいろいろなことを楽しめます。街を歩いていると、人が街にあふれ、人々が戸外での生活を楽しんでいて、又、住民たちのホスピタリティと親切とを感じることができます。

ゴシック地区、リベラ地区、ラバル地区からなる旧市街はその歴史的な建物で有名です。バルセロナの歴史上のいろいろな時期を理解し、ゴシック建築の間に完全に保存されているローマ時代の市壁やユダヤ人街の遺跡等のモニュメントをゆっくり眺め、また特にこの街の特徴である地中海の雰囲気を感じたいには、古い通りを散策することが不可欠です。

バルセロナを知る上で、ランブラス通りほど適したところはないでしょう。ランブラス通りはコロンブス展望塔のある海辺から始まり、街の交通の要所であり、人々のミーティングポイントである、カタルーニャ広場までのにぎやかで彩りにあふれた通りです。活気にあふれ、多様性のあるこの街の心臓のような存在で、この通りを歩いていくと幾度も立ち止まらされることとなります。ストリートミュージシャン、オペラ歌手、パントマイム、絵描き、人間が扮装した像、花屋のスタンド、小鳥屋さん、ボケリーア市場、1999年末に再建されたリセウ大劇場、数々のお店、居心地のよいカフェ等が、決して忘れられない独特の散策を演出することでしょう。

山手に向かって足を進めていくと、ヨーロッパでも特異な都市整備モデルであるエシヤンプラ(拡張)地区に入っていきます。これは1860年にイルデフォンズ・セルダにより計画されたもので、そこにはモデルニスモ建築の素晴らしい建物が立ち並んでいます。有名なグラシア通りでは、このモデルニスモ運動の最も代表的な作品を見ることができます。アントニ・ガウディ、プッチ・イ・カダファルク、ドメネク・イ・ムタネーといった建築家たちが、彼らの創造性を、当時のカタルーニャのブルジョアたちの住宅という形で表現しました。バトリョ邸、アマトレール邸、ミラ邸-ラ・ペドレラという名のほうがよく知られている- とその他の建物とで多彩な色と豊かな形を創り出しています。

モデルニスモは街中で感じるすることができます。ガウディの未完の大作サグラダファミリア大聖堂、カタルーニャ音楽堂、グエル公園がその一例で、モデルニスモ時代の遺産といえましょう。カタルーニャ音楽堂とグエル公園は、ラ・ペドレラ(ミラ邸)、グエル邸、サン・パブロ病院とともに世界遺産に登録されています。

しかし、バルセロナは過去の遺産に頼っているだけではありません。バルセロナはダイナミックでアクティブで、常にリノベーションを繰り返しているのです。この最近10年間で大変大きな変化を遂げてきたと感じられます。オリンピックの歴史上、大成功を収め

たとされる1992年のオリンピックを契機に、街は海に向かって開かれ、先端技術で作られた道路網のインフラが整備されました。またこの92年の大イベントは、磯崎のサンジョルディ体育館、ルイス・コンパニ オリンピックスタジアム、オリンピック・リングといった大変豊かな建築的、都市整備の遺産と呼べるものをモンジュイックの丘に残してくれました。そしてその進化が2004年の世界文化フォーラムという挑戦の後も続いています。

都市観光の目的地

バルセロナは、ヨーロッパ都市観光の主な目的地の一つに数えられる位置を確立しました。この町は、週末を楽しく過ごすためや、三日以上の快適な滞在のために必要な全ての設備を備えています。数年前からすでに、夏冬の休暇に観光目的でこの町を訪れる人が50%を越え、もう一つの訪問目的であり、この町の強みであるビジネス旅行者数にほぼ匹敵するにいたりました。それと言うのも、この町が短期休暇を過ごすのに、理想的な所だからでしょう。

ここ数年、カタルーニャ州の首都であるこの町は、世界的に大きな船舶会社が使う地中海にある港の中で、最も人気のある港を持つ町になりました。中でも新しくできたポート・ターミナルは、非常に良い設備とサービスを提供でき、この町に完璧に統合されています。またクルーザー（巡航客船）で訪れる観光客に、世界一流のショッピングの雰囲気味わいながらバルセロナを散策するチャンスを提供しています。この事は、バルセロナを非常に魅力的な寄港地にしています。

バルセロナが提供できる多くの魅惑の一つ、**カルチャー（文化）**がこの町を都市観光の目的地として最適にする役目を果しています。印象的なモデルニスモの文化遺産は、建築学的に世界的でも第一級の重要性を持った富と言えるでしょう。カタルーニャ風ロマネスク様式の美しい絵画は、世界中で良い評価を受けています。これも、この町が名声のある音楽や劇などの文化的活動とともに、巧みにコンビネーションしている、もう一つの明かな魅惑そのものです。

ランキング

- バルセロナは、ラ・ペドレラ、グエル公園、グエル邸、カタルーニャ音楽堂、サンタ・クレウ・サン・パウ病院、サグラダ・ファミリア教会、バトヨー邸、ビセンス邸およびコロニア・グエル（工業住宅団地）の地下礼拝堂の九つの建物が UNESCO の世界遺産に登録されている世界で唯一の都市である。
- 国際会議コンベンション協会 (ICCA) によると、国際会議の開催数では世界で四番目の都市、また国際協会連合 (UIA) によると会議観光都市としては、世界で九番目の大都市である。
- 専門誌 *Lloyd's Cruise International* によると、バルセロナは地中海とヨーロッパの主要クルーズ寄港港である。
- バルセロナは *The Daily Telegraph* 誌によると、2003年度の都市観光地として一番人気があった。
- バルセロナは、スペイン以外の外国航空会社のためのガイドとして発行されている *Time Out* 誌に、2002年のウィーク・エンド・トリップの最良の目的地として選ばれた。
- バルセロナは、British Travel Awards により 2006 年度および 2007 年度の *city break 憩いの街* としての最良な都市と評価された。
- スペイン国内紙 *El País* の "El Viajero" の読者によると、バルセロナは2004年のスペイン国内での最良の街である。
- バルセロナは2002年の *Gourmande* の街として選出された。フランス以外の都市でこの食文化の高いレベルを認められたのは初めてである。
- バルセロナは、世界で一番重要な会議見本市 (EIBTM) を2004年より2013年まで開催する。
- イギリスの British Airways 航空会社によると、バルセロナはイギリス人にとって短期旅行の一番お気に入りの目的地である。
- バルセロナは、スペイン国内において、海外からの観光客がクレジットカードでの買い物が一番多い街である。(全体の22%)
- ヨーロッパ・ツーリストリーダー・ベンチマーク (**European Tourism Leader Benchmark**) によると、バルセロナは観光客の増加率が最も高いヨーロッパの都市である。(ここ10年間でホテル宿泊数が倍になった)

最近の観光関係の統計資料は、Turisme de Barcelona の Web ページ：www.barcelonaturisme.cat を参照してください。

カタルーニャ音楽堂 (PALAU DE LA MÚSICA CATALANA ーパラウ・デ・ラ・ムシカ) の 100 周年祭

創設 100 年祭を記念する一連の特別コンサートやテーマ別展示会が開催される予定で、モデルニスモ建築を代表するこの公会堂の多様なスタイルやその意義を浮き彫りにしています。

2008 年はバルセロナ所在のカタルーニャ音楽堂 Palau de la Música Catalana (パラウ・デ・ラ・ムシカ) 創設の 100 周年に当たります。ですから今年、ユネスコの世界遺産に登録されているこの貴重なモデルニスモ建築の公会堂の歴史を掘り下げ、さらにこの 100 周年を記念して特別に開催される様々な分野のコンサートの素晴らしい響きに浸ってみる絶好の機会であると言えます。

オルフェオ・カタラン(カタルーニャ少年合唱団)の依頼で建築家ルイス・ドメネック・ムンタニェールが手がけたこのカタルーニャ音楽堂は、カタルーニャ地方のモデルニスモ様式の建築物の中で最も重要な建物のひとつです。1905 年に着工が開始され、1908 年に完成しています。ステンド・グラス張りの開放感に溢れる類稀な吹き抜けフロアを支える鉄筋構造が同音楽院の最も興味深い建築要素のひとつとなっています。さらに、エウセビ・アルナウ、ミケル・ブライ、パウ・ガルガジョの作品等、彫刻装飾、花のモチーフ、または多色装飾などの他の芸術的要素を建物の内部と外部の両方において全体的にうまく統合させる役割も果たしています。同建物は近年、オスカル・テュスケやカルルス・ディアスによる別館の拡大を含む、大規模な近代化および修復作業が行われました。

カタルーニャ音楽堂は、バルセロナやカタルーニャ地方全般で一世紀前に既に湧き上がっていた文化や進歩的思想の芽生えを代表する重要な建造物です。そういうことから、今年一年を通して開催される 100 年祭では当時の知的欲求を浮き彫りにすることに重きが置かれており、多岐にわたるイベント、お祭り、展示、コンサートやその他の文化的プログラムが用意されています。

各種コンサート

世界屈指のコンサートホールで、ちょうどカタルーニャ音楽堂の創設 100 年記念日に当たる 2 月 9 日より 14 の特別コンサートが開催されます。中には同音楽院コンサートホールの音楽史の一部を想起させるものもあり、100 年の歴史を通して披露してきた音楽のジャンルやその種類の豊富さを物語っています。様々な様式や時代のクラシック音楽、シンガーソングライター、ジャズやフラメンコ、ワールド・ミュージック、現代音楽や家族コンサートなどのコンサートがあります。

100 周年を記念して、カタルーニャ音楽堂の通常プログラム 2007 年ー2008 年度 Palau 100 でも以下の特別上演を初めとする一流の楽団によるコンサートが予定されています。カトリン・シホルツがコンサートマスターを務めるベルリン室内管弦楽団(2008 年 1 月 29 日)、リッカルド・ムティー率いるフィルハーモニー・オーケストラ(2008

年 2 月 24 日)、ジョアン・エンリク・リュナ指揮によるカタルーニャ音楽堂コーラス団 (2008 年 3 月 12 日)、パーヴォ・ヤルヴィ指揮によるシンシナティ交響楽団 (2008 年 4 月 17 日)、ロン・ユーが指揮を務める中国フィルハーモニック管弦楽団 (2008 年 5 月 8 日)、ならびに、18 世紀オーケストラおよびオルフェオ・カタラ合唱団の共演コンサート (指揮: フランス・ブリュッヘン、ソプラノ: バイオレット・セラナ、メゾソプラノ: ヴィルケ・テ・ブルメルストロート、テノール: アンデシュ・J. ダーリン、バリトン: デイヴィッド・ウィルソンズ・ジョンソン (2008 年 4 月 21 日))。詳細に関しては (www.palaumusica.org) をご覧下さい。

展示会

また、バルセロナの街の各地で 100 年の歴史に触れる各種展示会も開催されることになっています。まず、CaixaForum (カイシャフォーラム) (www.obra-social.lacaixa.es/centros/infoserveisfbcn.es.html) では 2 月から 5 月にかけて、建築、コンサートならびに同音楽堂で開催された行事の 3 つのテーマを中心とするマルチメディアの展示会が催される予定で、特に歴史的側面、現在の状況および未来の展望に重点を置いています。

el Palau Robert (www.10.gencat.net/probert/catala/que_es.htm) では 3 月から 4 月にかけて、“Cent dates, cinquanta personatges” (100 年、50 人) というタイトルの下、カタルーニャ音楽堂と縁の深かった人々について解説する展示会が開催されます。

インターネットでは、オルフェオ・カタラの図書館に収蔵されている最も貴重な文書の一部を展示するバーチャル展示会をカタルーニャ音楽堂のウェブサイト (www.palaumusica.org) でご覧になることができます。同時に el Foyer del Palau では、同音楽堂と関係の深い手書き文書や様々な物品が一定期間展示されており、こちらからバーチャル展示会にアクセスすることもできます。

さらに Galería Marlborough (マルボロ画廊) (www.galeriamarlborough.com) の主催の下、ガリシア出身の彫刻家フランシスコ・レイロの巨大彫刻がカタルーニャ音楽堂のファサード前の広場に展示されます。また、同音楽堂の 100 周年記念ポスターのコンクールに出品されたポスターも陳列されます。

視聴覚素材、ドキュメンタリー、書物

カタルーニャ音楽堂 100 周年は、見事な視聴覚素材ならびに、歴史、壮麗な建築やコンサートホールとしての音楽堂の価値について、建築家や音楽堂で実演した主要なアーティストの意見を交えて解説しているドキュメンタリーを作成する絶好の機会となりました。この視聴覚素材 (12 分) はカタルーニャ音楽堂のガイドツアーでお楽しみいただけます。一方、ドキュメンタリー (50 分) はヨーロッパの各種文化テレビ番組で放映される予定です。

さらに 100 周年を記念して、ジャーナリストで音楽評論家のジョアン・アントン・カララチの執筆で “*Palau de la Música Catalana. Simfonia d’un segle* (カタルーニャ音楽堂、一世紀のシンフォニー)” と題する本を出版しました。本書には、カタルーニャ音楽堂の豪華グラフィック画像の豊富な最新コレクションが掲載されており、プロローグは芸術評論家で作家のロバート・ヒューズが担当しています。

カタルーニャを象徴する各種機関も、カタルーニャ音楽堂の芸術精神や市民精神に通じる、文化的、音楽的、市民的な側面を強調する様々なイベントを 2008 年を通して開催する形でこの 100 周年祭に参加する予定です。また、カタルーニャ文化を強烈に象徴するこのモニュメントの 100 年祭は国境を越え、アムステルダムファン・ゴッホ美術館で開催される「1900 年代におけるモデルニスモ」に関する展示会でも扱われることになっています。

詳細情報については www.palaumusica.org をご覧下さい。

文化の街

バルセロナは常に、文化や祭りの強い伝統を持ち続けてきた街です。年間どの時期においても、50を超える美術館、博物館、そして数多くのアートギャラリーでの展示が楽しめます。最近増築のすんだ**ピカソ美術館**、**ミロ財団美術館**、世界で唯一のロマネスクコレクションを擁す**カタルーニャ美術館** (MNAC)、**バルセロナ現代美術館** (MACBA)、昔のモデルニスモの建物の中に作られた**カイシャ・フォーラム**、そして**アントニ・タピエス美術館**などを訪れることは、この街のあらゆる時代の文化を知る上で必ず必要となってきます。

バルセロナにおける音楽は、祭りのうちのひとつです。ここでは、あらゆるジャンルの音楽が楽しめます。クラシック音楽からコンテンポラリーミュージックまで、また民俗音楽やジャズも含めて。ラウデトリ、カタルーニャ音楽堂、リセウ劇場といった最新の設備を備えた、この街の象徴的な音楽会場では、年間を通じて有名なプログラムを楽しむことができます。一方、演劇はバルセロナの文化活動に活気を与えるもので、世界的にも有名な劇場がいくつかありますが、**カタルーニャ州立劇場**の新設は、バルセロナでのこの分野の可能性をさらに強固にしました。

バルセロナにおいて文化活動は、大変活発に行われています。毎年、美術館、博物館、文化センターは沢山人々にぎわいます。昨年には、バルセロナの主要美術館の総入場者数は、約1700万人にものぼり、この数はホテル宿泊者数が増加していることと同様に、年毎に増加しています。このうちサグラダファミリアは最も人気のあるスポットです。昨年は200万人以上の人が入場しています。同じくガウディの作品であるミラ邸や、新設されたカイシャ・フォーラムも大変人気が高く、150万人以上の入場者数にのぼります。

地中海料理: 大きな魅力

この街の**食文化の豊かさ**は、バルセロナにやってくる観光客をひきつける魅力のうちのひとつとなっています。バルセロナは昔から、色々な人々が行きかた土地で、多様な文明の文化が後に残され、それを吸収してきた事で、料理の伝統や豊かさをつちかってきた事で、世界的に知られた街です。バルセロナは、**2000年以上の歴史**の中に残されたものと、それによって蓄積された人類の知識と、料理界で新しく優秀な料理人達が登場した事などで、例えばフランス以外の都市で始めて2002年度の *Gourmande* (グルマンダ)の称号を得るような、レベルの高さを誇っています。

バルセロナには豊かな多様性を持ち合わせたカタルーニャの食文化があります。そしてそこには、**4つの風景**、すなわち、海、山、畑、平原から生み出される食材が共存しています。**地中海料理**は世界的に、その多様性と質の良さとヘルシーさを認められています。また、街の市場や専門食料品店で売られている食材も、より一層魅力を引き立てます。

バルセロナでは、食事をするとか何かを食べるという行為をする時間は、**社会の中の個人**にとって大変重要な時間だと考えられています。美食の文化は、生活の中のある概念と関係していて、南の地方の人たちのライフスタイルに恩恵を与えていて、その結果としてその地方の、色々な健康関連の指数の数値として表れています。

このカタルーニャの州都には、本当に沢山のガストロノミーの可能性ががあります。このことは、近年最も発展した経済活動に結びついています。現在のところ、**1万軒以上**に飲食店免許が交付されています。そのうちの多くは一流のレストランであり、実際、この街でミシュランガイドに掲載されているレストランの星の合計数は15に上ります。

料理はバルセロナの観光戦略の重要な要素のうちのひとつです。コンソーシアムは、州都バルセロナのレストラン126件が参加するバルセロナの美食プログラムを通して、この街のグルメ料理のプロモーションを行っています。

色々な種類の食事

バルセロナは、軽食を楽しむ所です。この街では昔からの伝統と斬新な前衛とが上手くコンビネートされています。下記にガストロノミー・ジャーナリストのパウ・アレノース氏がお奨めするある一日のグルメのスケジュールをご紹介します。

この町にいる観光客の皆さんにとって、ただこれらの食事を逃さないためにしなければならない事は、時計を見て時間に気を付けることだけです。とは言っても、我々の腹時計と言う精密な器具は、待ち構えたようにそれらの時間を知らせてくれる事でしょうが、、、時計を持っている、持っていないに拘わらず、このバルセロナというグルメの街で、一日の内にどの食事を食べるか、そのためにどこに行くかについて、下記の事に気を付けて下さい。

午前8時から10時まで:朝食

「ボケリーア」という言葉は、それを聞くだけで食欲が湧いてきます。それはただ単に、その言葉の前半分がカタルーニャ語の *boca* という言葉に響きが似ているからだけでなく、この街の最も主要な市場を意味しているからです。この市場の入口に、*Pinotxo* という名前のバールのカウンターがあります。ここではご主人のホアニートが、この街で一味違う談話を楽しませてくれます。ご主人の甥達を作る次の料理もなかなかの物です。鱈料理は亡くなった人も蘇らせるほどの美味しさです。賢い *Capipota* または未だ水の中にいると思っっているぐらい新鮮な魚の料理。朝からナイフとフォークでたっぷり食事をするのも良いでしょう。時計を持っている、持っていないに拘わらず、朝からそんな重い食事はどうもと言う人には、隣のパンとケーキのお店 *Escriba* でフランス語を話すようなクロワッサンという軽い朝食もあります。

昼12時から13時まで:ベルモット

バルセロナのバルやレストランの中で一番天国の近くにあるのが *La Vinya del Senyor* でしょう。というのは、*Santa Maria del Mar* 教会のゴシックの天国の門の真ん前にあるからです。時計を持っている、持っていないに拘わらず、観光客の貴方はこの圧倒的な正面の前に座るべきで、一杯のグラスのワインを注文して、または状況に応じてはワイン・ボトル一本を注文して、つまみには胡桃パンとフォアグラ、ヤバネラス地方のえんどう豆の、微生物学の博士が専門に作ったインゲン豆などがお奨めです。そうすると、食べながら、飲みながら、または聖体を授かりながら、本当に神様が存在すると確信する事でしょう。

この軽食の後で、まぼろしのブティファラ・ソーセージを試すために、*La Botifarrerria* まで一足伸ばしましょう。そして、もう少し足を遠くまで伸ばして、*La Vinoteca* で記憶に残すべき美味しいワインを求めましょう。

午後13時半から16時まで:昼食

二つの選択肢があります、両方とも若いシェフの店で、珍しい料理の探検と何を食べても美味しいとの信頼感があります。一つ目は、つまみの店です:バルセロナは、つまみを再創作しました。これは多分、最近の百年の間にバルセロナで起こった唯一の文化的革新と言えるでしょう。三本フォークのレベルの店:*Estrella de Plata*、*Santa Maria* そして *Comerç 24* です。気が置けない食事というか、一品一品は量的には多くないのですが、美味しくて長持ちのする満足感を与えてくれます。

もう一つのほうは、もっとモダンで、顕著で厳しい食卓を攻めることです。バルセロナの調理師一つの世代が、一再生した世代とも言えますが—この街をガストロミーの首府に位置付けする事でしょう。これらのレストランは、グルメの手帳に、唐辛子のような赤線アンダーラインを引いて書いておくべきです:*Hisop*、*Satc*、*Alkimia*、*Valenti*、*Ot*、*Colibrí*… これらは、現代にマッチするように再構成された、ダイエット指向で、重々しさを取り除いたカタルーニャ料理なのです。

午後17時半から18時まで:午後食

リセウ劇場のお腹の部分、すなわち一階ですが、*Sacha* の製品で見事に調音したカフェテリアがあります。この会社は、ケーキそのものを芸術作品に変えました。アトレッツオのミニ・ショートケーキ、バリトンの小型パン、シンフォニーのブリオーージュなどなど。

午後21時から23時まで:夕食

ガストロノミー的豪華な夜。ミシュラン・ガイドの大熊座がこの街を照らします。長い一日のグルメ・ジョギングの後には、世界のグルメとしては長距離レースで締め括らなくてはなりません。

極上レストラン 13 軒: *Àbac* (アバック) , *Alkimia* (アルキミア) , *Caelis* (カエリス) , *Drolma* (ドウロルマ) , *El Racó d'en Freixa* (エル・ラコ・デ・フレイシャ) *Gaig* (ガッジ) , *Hhoffman* (ホッフマン) , *Jean Luc Figueras* (ジャン・ルック・フィグラス) , *Lasarte* (ラザルテ) , *Moo* (ムー) , *Neichel* (ネイシエル) *Saüc* (サウク) 、 *Via veneto* (ウィア・ベネト)

Gaig 師のトリュフ入りカネロニ; *Neichel* 師のうみざりがにのタルタル; *Figueras* 師のカリカリとした子豚; *Puig* 師のジャガイモと月桂樹入りのエスパルデーニャス (貝の一種); *Pellicer* 師のフォアグラの蒸し焼き; *Freixa* 師のベーコンいりのインゲン豆のスープ。時計を持っている、持っていないに拘わらず、観光客のあなたはこれで、この街のグルメ道を全てなし終えたと感じて、心置きなく休める事でしょう。

ツーリスト向けレストランガイド

料理に関心を持つ観光客のみなさんが、街を楽しむための新しい道具が増えました。Turisme de Barcelona (バルセロナ観光局) は *la Guia Turística de Restaurants, mercados y tiendas de comida* (観光客のための、レストラン、市場、食料品店ガイド) を出版しました。

このガイドブックには、バルセロナにある食に関する主要な304箇所を選び出しています。(11軒の市場、31軒の専門店、262軒のレストラン)

La Academia Catalana de Gastronomia (カタルーニャ・ガストロノミー・アカデミー) のエキスパートたちが、この街の店やレストランを、品質、独創性、話題性といった点を調査しこれらの店を選び出しました。

ショッピング：一味違う魅力

バルセロナでショッピングに行く事は、ひとつの楽しみです。カタルーニャの州都には世界的に有名なブランドをはじめ、この街を代表するショップもあり、質と値段の関係が大変リーズナブルです。バルセロナは、外国人観光客への販売額が、スペインの中でも最も高く、スペインのクレジット・カードでの売り上げの22%以上を占め、また、外国人がATMから引き出す金額も約21%に上ります。

バルセロナを訪れる観光客は、この街のショップの品質とサービスの良さを評価しています。その上、バルセロナ・ショッピング・ラインと呼ばれる、ヨーロッパでも最大級のショッピング・ゾーンがあります。これは海から、ランブラス通り、歴史のある旧市街地、ゴシック地区、グラシア通り、ランブラ・デ・カタルーニャ通り周辺を通り、ディアゴナルの山手迄、全長約5kmに渡って伸びています。沢山のお店が立ち並び、ショッピングを楽しむ事が、心地よい散策にもなります。そしてこれは、市内にある約3万5000軒のほんの一部だけなのです。

バルセロナ・ショッピング・ラインは、外からの色々な要求を、この街固有のショップ、またこの街の歴史の一部を担っているショップに取り込んでいます。今までの伝統とモダンなものをうまく融合することができて、それでいて自らのアイデンティティを失わず、お客様に対し、非常に幅広く豊かな品揃えで、質と値段の関係もリーズナブルで、かつ質の高いサービスを提供しています。現在のところ、190軒以上の店舗がこのショッピング・ライン加盟店に登録しています。この街有数のショッピング・センターも加盟しています。

バス・ショッピング・ライン

バス・ショッピング・ラインは、最高の快適さでこの街を楽しむ為に、特別に設計された経路を皆様に提供しています。カタルーニャ広場からディアゴナル通りのピオ12世広場まで、この中型バスは、この街の最良の店舗とラ・ペドレラ、バトヨー邸、アマッジェー邸などのモデルニスモのバルセロナの象徴的な建物を7分間隔で繋いでいます。またそのルートには、最大のバリエーションに富むレストランと街の中心の映画館も含まれています。これはバルセロナのエスプリをエンジョイするためのラウンド・トリップと言えるでしょう。

コンベンション:効率と創造性

バルセロナは、ヨーロッパでも学会や、企業のコンベンション、例えば商品のプレゼンやインセンティブツアーの開催地としてとても人気があります。その為、バルセロナにはそれに対応できる素晴らしいインフラが整備されています。バルセロナ国際会議場をはじめとする、室内のスペースで20万平方メートルの会場、また3000人の収容能力を持つ、最近できたばかりのもうひとつの会議場もあります。92年のバルセロナオリンピックの珠玉の名作といわれるサン ジョルディ体育館では、新車の発表会から大宴会、ファッションショー、インドア ウインドサーフ大会まで幅広いイベントが行われています。またこれらの施設に加えて、さらに、2004年11月からは、ハイテクの建物の中で1万5千人までの大型コンベンションを開催できる、新しいコンベンションセンター(CCIB)が加わりました。

約5万4千ベッドのホテル収容能力、特に大型ホテルがあるという事は、企業のコンベンションやインセンティブ・ツアーで要求される数々の条件を完璧に満たしています。またこの業界にとってもうひとつの魅力は、レセプションや豪華なディナー、パーティなどの会場として、もってこいの歴史的空間、例えばゴシック様式の建物の中や、ガウディの建物を含めたモデルニスム建物の中などが数多くあることです。またそのスタイルも、田園風からまったくモダンなものまで選ぶ事ができます。

バルセロナは、デザインやクリエイションの分野でも有名です。数多くのその道のプロたちは、社会的な行事やプログラムに特別な趣きを与えており、またこの地方の歴史、文化、自然環境に、自分のスタイルをうまく融合させています。

Turisme de Barcelona(バルセロナ観光センター)は、会議関係のプロモーションとアテンド専門のプログラムを整えています。1983年に創立された *Barcelona Convention Bureau* は、会議のオーガナイザーのお手伝いをするための幅広い経験をもっています。

堅実な経済基盤

バルセロナは、二千年の歴史の後でダイナミックで、クリエイティブでそして空想の出来る街に変身しました。このカタルーニャの首都は、ヨーロッパ経済地図の必須参考事項になりました。国内総生産量は550億ユーロに達し、事業を興すのには、ヨーロッパで第4番目に最適な都市と考えられ、専門職業に従事する者にとっては、ヨーロッパ大陸で第1番目に数えられています。(1) また国際的投資対象都市としては、ヨーロッパで第2番目 (2) そしてカタルーニャは、労働人口ではヨーロッパで第6番目に位置しています。(3)

- (1) Cushman & Wakefield – Healey & Baker 社発行の (2001 年) European Cities Monitor の報告書による。
- (2) Ernst & Young 社発行の (2002 年) European Investment Monitor による。
- (3) Eurostat 社発行の Statistics in Focus による。

バルセロナ港について

バルセロナ港は、イベリア半島と南ヨーロッパで、ロジスティックスのニーズを満足できる一番重要な港です。港湾、空港、高速道路及び鉄道といった全ての運送方法の設備が、半径5キロメートルの距離で相互連結されている事と、また運送関連分野とロジスティックス関連分野に最高のサービスを提供できる環境にある状況とが、地中海における商業、運送及び流通の主軸の一つであり続けさせているのです。この港は、年間ほとんど3千300万トンの交通量、142万5千個のコンテナ、61万5千台の新車そして約200万人の旅客が利用しています。

詳細な情報は、www.apb.es でご参照下さい。

バルセロナ空港について

バルセロナ空港 (プラット空港) は、ヨーロッパで最も重要な飛行場の一つです。ヨーロッパのマーケットと完璧に繋がっていて、年間3千200万人の旅客が記録されています。

詳細な情報は、www.aena.es でご参照下さい。

バルセロナ国際見本市

バルセロナ国際見本市は、各種専門展示会や産業見本市のオーガナイザーとしてスペインで第一、そして開催数ではヨーロッパで五本の指に数えられる地位を確立しました。ここで開催されている全ての展示会のうち、15件がヨーロッパでもよく知られています。というのは、ヨーロッパで各分野の5位以内の地位を占めているからです。

詳細な情報は、www.firabcn.es でご参照下さい。

ヨーロッパのクルーズ船の主要寄港

今日ではバルセロナは、クルーズ客にとっても、運航する船会社にとっても最も人気のある寄港地のうちのひとつです。Lloyd's Cruise International(ロイズ・クルーズ・インターナショナル)という雑誌によると、バルセロナは2003年に、ヨーロッパと地中海の寄港地の中で一番人気があるという評価を受けました。

バルセロナ港は、西地中海の中でも絶好の位置にあり、クルーズ船運航会社が基地港として使用するのに必要な条件をすべて備えています。例えば、有名な観光都市であること、質の高いホテルがあること、国際線が乗り入れている空港があること、そしてクルーズ船専用の港湾施設が整っている事などです。その上、バルセロナは、今後もクルーズ客の大幅な増加が見込める、ユーロリージョンの中心地です。

バルセロナ港には、毎年の沢山のクルーズ船客をアテンドする為に、十分な設備を整えた7つの専用ターミナルが備わっています。これらのターミナルは、街の中心地に位置しており、またバス、タクシーといった交通手段を使って街の色々なところへ簡単に行く事ができます。

スポーツ

バルセロナの年間スポーツ・カレンダーには、国際的規模の数々の競技会が予定されています。観光地としてのバルセロナの魅力に加えて、この街で行われる主要なスポーツ・イベントへの参加者を増やそうという目的で **Barcelona Sports** というプログラムを推進する事になりました。このプログラムは特に次のページに掲載されているスポーツ・カレンダーに載っている、バルセロナで開催される国際級のスポーツ・イベントを推進していきます。カレンダーについてはホームページ www.barcelonaturisme.ca をご参照ください。

最新情報

新しいスペース

バルセロナは、常にリニューアルリングを繰り返しています。次々と新しいスペースが作り出されていき、競争力と魅力が、より増していきます。

バルセロナ国際コンベンション・センター

新しいバルセロナ国際コンベンションセンター(CCIB)は、南ヨーロッパで最大の会議場です。総面積7万平方メートル、1万5千人の収容能力があります。この建物は柱のない1万1千500平方メートルの大ホールが特徴で、これは、高度な技術のおかげでできた柔軟性にとんだ大空間です。

この建物は、建築家ジュゼップ・ジュイス・マテオの作品で、実用的なパーティション・システムにより、ひとつもしくは複数の会議を同時に行うことが可能です。CCIB の新しい設備の中には、オフィスや高級ホテルなどもあります。

この建物の正式納入は、2004年11月1日に行われましたが、翌日11月2日には既に初イベントが組まれていました。守秘義務の問題から、イベントのカレンダーの詳細をここで公には出来ませんが、2005年から2007年までの間に25万人の参加者を見込む、約120のイベントが既に予約されています。

フォーラム ビル

フォーラムビルディングは、2004年バルセロナ文化フォーラムの大イベントの際に作られた素晴らしい数々の建物の中のうちのひとつです。バルセロナの新名所のひとつです。この建物は、大変ユニークで、一辺が180mの正三角形をしていて、高さが25mあります。作者は、前衛的な建築家ジャクス・ヘルゾックとピエール・デ・ミュロンです。フォーラムビルを見学すること自体が、町の観光地のひとつを見るのに匹敵するので、バルセロナを楽しむ口実がまた一つ増えました。

フォーラムビルディングは、バルセロナ国際コンベンション・センター (CCIB) 、大広場と共に、フォーラムの行事の中心地となりました。このイベントのあとは、全ての建物が地下の大通路で結ばれ、バルセロナに対して増えてきている会議、コンベンションへのニーズに対応できるようになっています。

グラン・ビア M2 (バルセロナ新見本市会場)

グランビア M2 の新しい施設の拡大工事が完了した2007年以来、バルセロナ見本市会場はヨーロッパで二番目の規模、建築や都市計画的見地からはヨーロッパで最も重要な見本市会場となっています。モンジュイックの丘に建つ歴史ある見本市会場も今後引き続き使用されますが、グランビア M2 は、そこからわずか2.5Km のところに位置しています。

詳細は、www.firabcn.esをご参照下さい。

アグバル・タワー・ビル

バルセロナは、バルセロナ市内に入るための門の一つ、ラス・グロリアス広場の革新のリーダー・シップを取るような、大きな規模の建物を建てるという一つの賭けを再び行いました。それが建築家ジャン・ヌーベルの署名の入った、未来指向の形状をしたアグバル・タワー・ビルです。この傾向は、建物の外観が円錐形をしているだけでなく、その全ての表面がガラスで覆われている事でも表されています。このビルの142メートルの高さは、バルセロナのほとんど全ての場所から眺めることができます。これは、バルセロナが世界的建築界の全景において、前衛を務める事に賭けているのを示しています。そしてもう既に、地上142メートルの高さの所にある展望室は、他にひけを取らない物見の塔として、昼間の観光の目玉商品としてはもちろんのこと、夜間も、上から下まで同時に照明の色が変わるといった趣向で名物の一つになっています。

サンタ・カテリナ市場

建築家エンリック・ミラーエスの手になる、新しいサンタ・カテリナ市場は、その特徴的な色彩あふれる天井によって、バルセロナ市の中心部の象徴的画像の一部になっています。これは、見世物的な設備であるとともに、近代的な設備でもあり、その上、カタルーニャの首都で二番目に古い市場であるという事実があるからです。根本的な改装の工程の真っ只中であって、現在では約60軒の店が改装されており、月に22万人の客を迎えるこの市場は、新しい観光の目玉商品の一つになって、同じく近くにあるボケリーア市場と同じく、人気を集めています。

カルチャー・プロジェクト

ここ数年、バルセロナのダイナミックな文化を代表する新しい空間が増えてきています。

新しいカタルーニャ美術館 MNAC

1000年の美術

新しいカタルーニャ美術館(MNAC)は、10世紀から20世紀までのカタルーニャの、1000年間の美術を途絶えることなく鑑賞することができます。ロマネスク、ゴシックといった中世美術の豊富なコレクションの展示内容は、世界でも最高水準です。ロマネスクのフレスコ壁画は、教会のアプス部の壁画の質としても、現地の壁画をそのままの状態を持ってきて再現したという意味でも、この分野では世界で唯一の独特なものです。ほかにもルネッサンス、バロック美術のコレクション、また以前はペドラルベス修道院に展示されていたティッセン・ボルネミサコレクションの一部も新たに加わりまます。また、以前は近代美術館に収蔵されていた近代美術コレクションの中には、モダニズムや前衛彫刻運動の時代の秀逸な作品があり、今回はじめて写真のコレクションが新たに加わる事になりました。このコレクションは、写真の誕生から現在に至るまでを展示しています。またさらに14世紀から20世紀までの美術品を集めたカルメン・ティッセン・ボルネミサ・コレクションも新たに加わりました。また一方、古銭のコレクションは、古代ギリシャから始まり、コインの歴史を知る事ができます。

MNAC は1929年の万博の時に建てられた建物を使用しています。この建物はイタリア人の建築家ガエ・アウレンティにより改築されました。美術品展示スペースのほか、オーバルホール(1600平方m)、レストランがあり、この美術館からは、この街の絶景のうちのひとつが楽しめます。

詳細は 93.622.0376 www.mnac.es - info@mnac.esをご参照ください。

コスモ・カイシャ

ラ・カイシャ財団の科学博物館を、1億ユーロの総工費をかけて改装、改築したコスモカイシャは今までの美術館、博物館の概念をまったく新しくしたもので、科学というものをわかりやすく、また興味をわかせる科目にしようと考えて構成されています。

コスモ・カイシャは、ロンダ・デ・ダル(環状山手線)の真上に位置し、教育上、またインタラクティブという点からも大変 おもしろい博物館といえます。見学ルートは、物質の展示室から始まります。これは四つのセクションに分かれ、まず不活性体は、今から137億年前の宇宙の初期の時代から、ビッグバンを経て、物質、エネルギー、宇宙、気象の誕生の展示へと続き、次に活性体の時代に入ります。これは今から38億年前に生命の起源から始まります。そして3番目には知的体のコーナーでは、生命が環境の変化にどう対応していったかというようなニューロンの研究を展示しています。そして最後に、文明体に到達した類人猿が2本足で立ち上がるころから始まり、物を作り出す事を覚えたホモサピエンスにいたるまでの過程を説明しています。

この博物館は、展示物をただ見るだけではなく、色々な事を実際に触れたり、体験するところです。これは、子供たちがとっても好きな事です。様々な地層や火山岩、堆積岩といった岩石からなる高さ65メートルの地学の壁ある展示室では、ブラジルの氷河の一部も展示されています。また1000平方メートルの大展示室では、あなたをアマゾンのジャングルへといざないます。そこでは、その地域独特の熱帯雨や湿度80%などを、その地の花や動物に囲まれて体験する事が可能です。プラネタリウムは3D の天文シミュレーションにより、忘れられない体験となる事でしょう。また、一方ドーム・プラネタリウムは、子供たちの天文学への関心を引き出すために作られています。

www.cosmocaixa.com

インフラ整備状況

新たに13,000室以上のホテル客室の増室

バルセロナの観光業界では、1998年から2007年にかけて、新たに13,000室以上のホテル客室を増設しました。バルセロナは、年々増加するホテル需要に対応して、1年に1,500室のペースで増室しています。今年さらに2,761室の増設が見込まれています。

バルセロナ空港新ターミナルと第三滑走路

指令計画に基づき、年間5500万人の旅客者を収容、50万トン以上の貨物を輸送するのに必要なインフラの整備が予定されており、これによりバルセロナ・プラット国際空港が大きな躍進を遂げることになります。

2004年における第三滑走路の開設および主要滑走路の拡張により滑走路エリアのコンディションが改善されました。本設備の拡張で1時間あたり90回までの発着が可能になります。

リカルド・ボフィール設計による総面積 525,000 m² を誇る新南ターミナルの増設で空港の受け入れ能力が拡大、より質の高いサービスの提供が可能になります。

詳細に関しては、www.aena.es をご参照下さい。

バルセロナ港の拡張工事

バルセロナ港の第4期拡張工事により、バルセロナ港はヨーロッパ地中海の主要な物流のプラットフォームの中核となり、またヨーロッパの交通網の重要な拠点として強化されます。このプロジェクトにより、港の海域は、374hから786hに広がり、同様に港の陸地部分が558hから1265hに広がります。また、工事がすべて終了すると現在1万7千766メートルの埠頭の長さが、2万9千702メートルまで伸びる事になります。

国際交易の動向予測によると、バルセロナ港は2015年には、貨物の総取扱量は、現在の倍の6千万トンに近づくであろうと予想されています。

詳細は、www.apb.esをご参照下さい。

高速鉄道

バルセロナは、この数年内に高速鉄道網に接続される事になっています。現在のところ、スペイン高速鉄道 AVE は、マドリッドとタラゴナ間が開通しており、首都マドリッドまでの所要間は4時間半に短縮しました。残りの区間が開通すれば、所要時間はさらに短縮されるでしょう。

文化の街 バルセロナ 2000 - 2004

バルセロナは世界的に文化都市として知られています。それは、重要な遺跡が沢山あり、また年間を通して常に、また、ダイナミックないろいろな行事やイベントが行われているからです。バルセロナっ子たちは、これらの活気ある行事を一番楽しんでいます。そして、この街を訪れる沢山人々も、バルセロナは、第一級の文化都市と考えています。

この5年間、バルセロナは、新しいイニシアチブを持って文化的行事に力を注いできました。毎年プログラムに特色を持たせてきましたが、その頂点を極めたのが、2004年のバルセロナ世界文化フォーラムでした。

2000年は、特に音楽イベントに重点が置かれ、2001年にはエキスピアリエンス、バルセロナ・アートレポート2001年トリエンナーレ展や国際美術館会議が開催されるなど、美術に重点が置かれました。2002年には、国際ガウディ年のイベントにより、国際的な知名度があがり、バルセロナの文化は世界の中でも第一線に位置する事になりました。

2003年は、スポーツとデザインがテーマとなりました。特にスポーツでは、各国メディアで大きく取り上げられる事になりました。メインのイベントである世界水泳競技会では、14の世界新記録が生まれました。1992年のオリンピック以降にバルセロナで行われたスポーツイベントでは、最も重要なものでした。期間中、世界中の6億4500万人以上の人々が、何らかのメディアを通じて観戦したという事は、それなりの理由があったからです。また、警察官と消防士世界大会、バスケット・ユーロリーグのファイナル・フォーの試合の開催、ホッケーのヨーロッパ・カップなどがその一年間に開催されました。

国際ガウディの年 2002年 その残したもの

2002年度一年中「ガウディの年」のさまざまな催し物を通して、世界中がバルセロナが保存している建築学的な多くの宝物を、以前より興味を持ってまたより詳細に発見しました。また同時に、これらのモニュメントを一般に公開したことは、この天才の作品に近づける可能性をより増やすことになりました。この時から、グラシア通りにあるラ・ペドレラまたはミラー邸と同じように、そのすぐ近くにありモデルニスムの宝石の一つである、バトヨー邸も常時一般公開になりました。そこでは、玄関ホール、印象的な階段、高貴な雰囲気醸成一階、ガウディ自身が創作したいくつかの家具、そして美しさそのもののオアシスである中庭などを見ることができます。

一方サグラダ・ファミリアは、フル・スピードで作られるその装飾作品とともに、日に日に建設が進んでいます。このようにして、アントニ・ガウディがその教会の構内そのものの中に作った学校を知ることが出来るようになったのです。その学校は、2002年までの長い間復旧されなかった物です。波型の天井とその建築学的な解決方法は、じっくりと時間を取って訪れる値打ちがあるものです。また同じく、ラ・ランブラ通りの側にあり、この天才の庇護者であるグエル伯爵の依頼で建設したグエル邸も、同じくらいの値打ちがあります。

バルセロナを散策していると、異常なまでに感性的なポーチと外形が人目を引く、個人の持ち家であるベージャスグアル邸にたどり着きます。そこから余り遠くない所に、グエル公園やカテドラ・ガウディがあります。このカテドラ・ガウディという建物は、昔はこの天才建築家によって作られた馬小屋として使われていた物で、今日ではガウディ研究に携わるセンターとして使われています。鍛造の大きな竜が正門で我々を迎えてくれます。また同時にこの竜は、ギリシャ神話の壮麗なヘスペリデスの園の見張り番でもあります。

「ガウディの年」が終ってからは、19世紀末に行われた都市開発のプロジェクトの賜物であるコロニア・グエル（グエル工業住宅団地）を訪問してみることをお勧めします。中にあるこの礼拝堂を眺めて楽しみながら、その都市計画の一部としての価値も評価できるように設計されています。バルセロナからも、約10キロメートルほどのあまり遠くない場所ですので訪れる価値は十分にあります。

バルセロナの世界文化遺産

ユネスコがガウディの九つの作品を世界文化遺産のカタログに掲載

このカタルーニャ州の首都の道々と区々は、全ての時代の建築学的な最も代表的で、永久的な野外展示と言えるでしょう。地中海の沿岸に生まれた、この全世界的な街を訪れる人は、もっとも古い文明の遺跡から、中世期の建築物を通して、今日の我々により近い時代のものとしては、モデルニスムの栄光の時代または現代の摩天楼までを見る事が出来るのです。バルセロナは、過去の時代の見本とも言える古いながらも良く

整備されている建物のその側にある、独特で象徴的な現代の建物で建築の世界では知名です。

このカタルーニャの首府が世界に誇示している建築的な宝物の内のいくつかを、ユネスコは再び榮譽を与えて特別扱いにする事を決めました。それは、それらの建物の中から四つを選び、ユネスコの世界文化遺産のカタログにのせることにより、全世界に示されました。天才建築家アントニ・ガウディがバルセロナに残したこの重要な遺贈品を、180ヶ国の600人に及ぶ人々が改めて認識しました。その理由は、毎年ガウディの作品を鑑賞するために近づくバルセロナの人々と何百万の訪問者が、より楽しめるようにという意図からです。サグラダ・ファミリアの地下礼拝堂と誕生の門のファサード、ビセンヌ邸、バトヨー邸及びコロニア・グエルの地下礼拝堂がユネスコの世界文化遺産のリストに無条件で入れられました。この様にして、ガウディの創造品が、建築学と19世紀末から20世紀初頭にかけての建設技術の発展に例外的に貢献した事の、全世界レベルでの公式の証明が再びされた訳です。

サグラダ・ファミリアの件は、バルセロナにとっては特別なものです。と言うのは、この教会がバルセロナの街のメイン・シンボルそのものになったからです。スペイン国内の文化的な施設の中で、一番訪問者の数が多かったというのも強ち謂れの無い事ではないでしょう。サグラダ・ファミリアの誕生の門のファサードは、ガウディが彼自身の手で直接作った唯一の部分です。その地下礼拝堂に、天才建築家の墓を抱えるこの教会は、昨年250万人の訪問を受けました。これはこの街の文化的な作品を訪れる全ての人の六分の一に相当します。ビセンヌ邸もまたガウディの建築学的な軌道を代表する見本の一つと言えるでしょう。その理由は、セメント工場の所有者家族のために、1883年から1885年にかけて建てられ、この世界的な建築家の初期の大規模な作品の一つだからです。

バトヨー邸の歴史には、一つのエピソードが隠されています。それは、依頼者の繊維産業事業家のために、1904年から1906年にかけて建てられたのですが、初めはバルセロナ市の建設許可がなかなか下りなかったそうです。今では、この街の建築学的なもう一つの魅惑そのものになっています。カタルーニャ州の首都の郊外に位置する、コロニア・グエルの地下礼拝堂は、サンタ・コロマ・デ・セルベヨーという小さな村にあります。ガウディが設計したものの中でも一番個性的なスペースを持ったものの一つです。カタルーニャ・ツーリスト・バスのペネデス・ルートの一部なので、訪問者にとっては非常に近づき易くなっています。

ガウディのもう四つの作品が世界文化遺産のカタログに掲載されたことは、バルセロナで合計九つの建物がこの榮譽を受けたこととなります。以前、1984年にミラー邸(一般にはラ・ペドレラとして知られている)、グエル公園及びグエル邸が、この榮譽に浴しました。ユネスコは、またバルセロナが生んだもう一人の偉大な建築家ドメネック・モンタネーが残した作品にも、評価の目を向ける事も忘れませんでした。1997年に、このユネスコの世界文化遺産のリストに、カタルーニャ音楽堂とサンタ・クレウ・イ・サン・パウ病院の二つの建物が登録されました。この様にして、バルセロナは世界文化遺産に指名されている建物の数をほぼ二倍にしました。これは、これらの最も象徴的な作品を、全世界の人びとに楽しんでもらえるようにと、保存してきたこの街のお蔭で、この街を訪れる理由が、疑いなくもう一つ増えたという事です。

詳細は www.barcelonaturisme.cat をご参照ください。

バルセロナ 文化フォーラム 2004年

世界規模の新しいイベント

2004年、バルセロナでは、5月9日から9月26日まで、世界規模の新しいイベント、世界文化フォーラムを開催しました。このイベントは、文化の多様性や生態系の中での持続可能(サステナビリティ)な開発、平和のための課題などを軸に行われました。フォーラムは、討論会、ショー、コンサート、お祭り、展覧会などの数々のイベントを行いました。たくさんの市民の参加があり、入場者の数は323万人以上に達しました。このように沢山の市民から支持を受けたイベントは、これまでにほとんどありませんでした。フォーラムの最終週には、34万9000人が詰めかけました。また、総入場者のうち90万人は観光客でした。つまりフォーラムは、2004年度のバルセロナ観光の、もうひとつの目玉としての役割を果たした事になります。

フォーラムの会場に足を運んだ市民や、市内で行われたフォーラム関連のイベントやパフォーマンスには、合計で639万6000人の人々が参加しました。

フォーラムに対する評価は、入場者数といった数値的なものだけではなく、新しいアイデアが理想的だったという意味でも高い評価ができます。2007年にはメキシコのモンテ・レイで次のフォーラムの開催が決定しています。

人間とその重要性を展示するのが主目的である、フォーラムは、文化とレジャーに関するバルセロナの国際的な名声を確固たるものにしました。2004年にフォーラム会場で行われた様々な行事のうち、市民と観光客は主に4つの展示を楽しめました。ゴイス: 人間のコミュニケーションと、言語の多様性をめぐる展示、人間の住む地球: 人間と周りを取り巻く環境について。都市、街角: 都市とその社会的、経済的、文化的、政治的役割について。兵馬傭展: ヨーロッパで開催された中で最大級の、中国の墓所の遺跡発掘品の展示。この中国美術の点が、4つの展示の中で最も人気があり、111万6千430人の入場者を記録しました。

市内にある美術館、博物館、劇場、音楽会場といった文化施設もフォーラムの舞台として使われました。市内の、フォーラムのイベントの一部としてのプログラムには、100万人を超える参加者がありました。

47の討論会

フォーラムの会場では、47の対話(会議)が行われ、人類の抱えている重要なテーマについて議論が交わされました。全部で6万7423人の人々がそれらの討論会に出席しましたが、そのうち32.1%が外国人でした。また、2千371人の方が、発表や報告を

行いましたが、中でも、ミハエル・ゴルバチョフ、サルマン・ルシュディ、アドルフォ・ペレス・エスキベルの参加が特筆されます。

フォーラムは、バルセロナが世界をあっと言わせた、新しい提案でした。バルセロナに文化活動を進めて行く能力や寛大さや、対話というものを残した、新しい形のイベントでした。オーガナイザーによると、フォーラムを訪れた人々のうち、4人のうち3人が再来したいと、なかなか良い評価をしています。

またこの行事によって、バルセロナ国際コンベンション・センターやフォーラムビル、大広場などの大変重要な公共工事やインフラ整備が行われました。このフォーラムの会場は、公共スペースと街中のインフラとがサステナビリティを重視した形でうまく溶け合っていることが評価され、今回のベニス・ビエナーレで受賞しました。

フォーラムは、ユネスコの後援のもと、バルセロナ市役所、カタルーニャ州政府、中央政府の間でオーガナイズされました。

詳細は www.barcelona2004.org をご参照ください。

『食』をテーマにした“バルセロナ・ガストロノミー・イヤー” 2005-06

2005年3月から2006年3月までの1年間、カタルーニャ地方の『食』をテーマにした“バルセロナ・ガストロノミー・イヤー”が開催され、バルセロナは国際食文化の都市としての位置を確立しました。

この期間中に企画された412種のイベントには、16万4千人が参加しました。その内容は多様で、数々のコースや実演、試食もしくは展覧会を通して、地元市民から観光客までだれもが気軽に食文化に触れることができました。バルセロナ市主催・バルセロナ観光局協賛のもとに実施されたバルセロナ・ガストロノミー・イヤーの成功は、料理関連の新たな活動を引き続き催すことを明確にしました。

「メルセ祭」の夕食、バルセロナ試食サロン(食品見本市)、宇宙生活のためのバルセロナメニューなどは最も注目を集めたイベントでした。特に街頭にてのカタルーニャの伝統料理の試食は大人気ぶり。はじめの「メルセ祭」にはパセオ・デ・グラシア通りにて様々な郷土料理が披露され、千二百人の食事客で賑わいました。二番目のはカタルーニャ地方の特産物を紹介する大規模な食品見本市“Alimentària”の開催でした。最後で、よりオリジナルなのはコックとデザート職人によって考案された種々なおいしい食材を使っの宇宙飛行士のための食事でした。

これと平行してガストロノミー・イヤーの期間中に、4軒のレストランがミシュラン星を獲得しました。これにより、レストラン界の重要な格付けとされるミシュラン星所有のレストランはバルセロナで13軒に及びます。

こうして、前記ガストロノミーイベント実施は、この先バルセロナ観光客が“バルセロナ・ガストロノミー プロモーション”のみに向けた独自の企画を立てることを可能にしました。

バルセロナは新たに“ガストロノミーの町”として、より多くの観光客を惹き付けることでしょう。その観光客の増大を糧にカタルーニャ州首都は、魅力的な“食”の普及に力を入れていきます。

バルセロナ観光局

Turisme de Barcelona (バルセロナ観光局)は、観光を目的とした当市の振興に従事する機構で、バルセロナ市役所、バルセロナ商工会議所及びバルセロナ・プロモーション財団によって構成されています。

プロモーション、普及及びマーケティングの諸活動を全世界の主なマーケットに向けて行なっています。また、会議関係、クルーザー関係、夏冬などの休暇関係、文化関係、といったこの機構にとって興味深いいろいろなマーケット分野に宛ててその活動を広げています。同様に、この街の観光関係の分野に対して、そのプロモーションを積極的に広げるために参加したり、その提供できる業務のプレゼンテーションを援助したり、国際的な需要に対してこれらの製品を紹介したりする機会を提供しています。この計画的活動は、バルセロナ宿泊者数が1994年の470万人に対し2007年には1千400万人に急増した事を、如実に現わしています。

観光代理店などの間接的手段やインフォメーション・センターから直接的に、さらにそのウェブサイト(www.barcelonaturisme.cat)より、バルセロナ観光局はこの街を皆様に楽しんでいただく為に、一連の商品のマーケティングを繰り広げています。

バルセロナを楽しむ

バルセロナ・ツーリスト・バス

2つのルートで運行されている、ダブルデッカーバスで、快適にバルセロナ市内を観光する事ができます。一日券または二日券があり、この乗車券で、指定停留所で何度も乗り降りが可能です。またこの乗車券には、市内の主要観光地の施設などの割引クーポン券セットがついています。車内には、観光客にアドバイスをする係員がいます。

カタルーニャ・ツーリスト・バス

カタルーニャ・ツーリスト・バスは、バルセロナ市内から、フィゲーラスとジローナの街を観光するコースと、モンセラットーボデガスーシッチェスを守るコースがあります。この2つの周遊コースは、バルセロナ・ツーリスト・バスと同じ考え方で運行されています。つまり、訪問する場所の、ほとんどの文化施設の無料入場券や割引券、またショップや飲食店の割引特典がついています。

バルセロナ・カード (BARCELONA CARD)

このカードは、市内線の公共交通機関の利用が無料で、その上、美術館、博物館、演劇、レジャー施設、ナイト・スポット、店舗、レストラン、一部の特別な交通機関の、割引もしくは無料利用の特典がついています。有効期限が、1日、2日、3日、4日、5日のものがあります。

バルセロナ・ウォーキング・ツアー

ゴシック地区コース

バルセロナの歴史と政治の中心である、ゴシック地区をまわるツアーで、プロのガイドが皆さんをご案内します。徒歩でまわるこのツアーは、カタルーニャ広場の Turisme de Barcelona (バルセロナ観光センター) のインフォメーション・センターからスタートし、ゴシック地区の通りや、広場を巡っていきます。

ピカソコース

ピカソが生きた19世紀末から20世紀の、バルセロナでの芸術家ボヘミア時代のあとをめぐるガイドツアーです。徒歩でまわり、このアーティストの生活や経歴に影響を与えた事柄や、色々なエピソードを説明し、再現します。このツアーは、ピカソを記念して作られたピカソ美術館で終了します。この美術館には、ピカソの若い時代、修行時代の時期の重要なコレクションが、収蔵されています。

グルメ・コース

バルセロナの旧市街地区を巡るコースで、バルセロナのグルメを構成している要素を少しずつ発見して行こうというのがその目的です。このようにして、果物や野菜類からパー・アンブ・トマカー (トマト汁を塗り付けたパン) やブティファール・ソーセージまでを、コーヒー、トロンス菓子またはチョコレートなどを通して、この街の訪問客にしては新しい物を見つけることでしよう。

モデルニスモ・コース

モデルニスムの出現の時と一致した、19世紀末の特別に恵まれた条件の空間であり、当時のバルセロナの裕福なブルジョアのお気に入りの場所になった、ル・エンシャンブラ地区の黄金のコーナーと呼ばれたゾーンを巡るコースで、それはまるでガウディ、ドメネック・モンタネー及びプッチ・カダファルクなどの偉大な建築家の作品の野外展示を心ゆくまでじっくりと眺めているような錯覚に陥ります。

コロンプスの展望塔

1888年の万博を契機に建設されたもので、コロンプスによるアメリカ大陸の発見を記念したものです。このモニュメントの鉄塔の内部には、上の展望室までのエレベーターが設置されています。60メートルの高さから眺める市内の景色は絶景です。山から海にかけて、市内の歴史的な建物から新しい海側の、ウォーター・フロント、また新しい交通インフラの軸を構成する街並み、新しいスカイ・ラインなどを眺める事ができます。

バルセロナ・サイクル・バス

バルセロナ・サイクルバスは、バルセロナをサステナビリティのある方法で、また人間のスピードで観光する事を可能にしてくれます。このシステムは、市民だけではなく、観光客も含めて考えられたもので、自転車を時間、半日、1日または週末単位で貸し出します。このシステムの大きな利点は、自転車の使用者自身が、街を観て歩くための

独自の行程を考えることができる事です。というのも、自転車をどこの貸し出しポイントで借りても、市内各地にある複数の貸し出しポイントのどこへでも返却できるからです。

マリーナ・バルセロナ

この街の海の正面玄関ヨットで散策するもので、観光とヨット・スポーツの練習の入門コースをコンビネートしたものです。「ラケロ(海賊)」クラスと呼ばれる全長5メートル級の帆船に乗り込み、自分たちで操縦の一部を行なうものです。五人が一グループとなって、一人のインストラクターが同伴し、その船の操縦法を説明し、一人一人に航行中の仕事を与えます。ヨット・ハーバーで基礎説明を受けた後、船は外海に乗り出し、実習が始まります。と言っても、ご心配なく、常にインストラクターが操縦し、皆さんのお手伝いをするのですから。

バルセロナ・ゴルフ

バルセロナ・ゴルフ(Barcelona Golf)では、3箇所の近郊のゴルフ・コースでプロ・ゴルファーと共にマッチする機会をご提供致します。「フォー・ボールズ」のモードで18ホールのコースを回るものです。このサービスをご利用になれるのは、ゴルフ連盟に登録、選手登録証を保持していらっしゃる方で、その際は早めに予約をしていただく必要があります。

バルセロナ・スクーター

125ccのバイクに乗ってガイドの案内で市内を回るというもので、従来の市内観光とは一味違った観光をお楽しみいただくというバルセロナ観光局の試みのひとつです。ガイドが観光スポットの歴史やその他興味深い話について説明するのを聞きながら、お客様自身がバイクを運転されることもできます。観光客のみなさまとバルセロナ市民向けにご提供するこのツアーは、おひとりで、またはお連れ様を後に乗せてお楽しみいただけます。

考古学共通入場券 (ARQUEOTICKET)

バルセロナにある5つの考古学関連の博物館:カタルーニャ考古学博物館 (Museu d'Arqueologia de Catalunya)、バルビエル・ムエリェール博物館 (Museu Barbier-Mueller d'Art Precolombí)、バルセロナ・エジプト博物館 (Museu Egipci de Barcelona)、バルセロナ市歴史博物館 (Museu d'Història de la Ciutat de Barcelona)、海洋博物館 (Museu Marítim) の共通入場券です。購入された年の12月31日まで有効ですので、ゆっくりと博物館を訪れることができます。

バルセロナ観光関連のサービス、商品のオンライン販売

Turisme de Barcelona は、web ページ (www.barcelonaturisme.com)を通じて観光関連の商品もしくはサービスをオンラインで販売しています。このイニシアティブは、バルセロナ来られる方達に、簡単に色々な可能性を組み合わせられるようにする為のもので、バルセロナ滞在中のホテルの予約や商品やサービスの購入などといった事も含めた、

オリジナルのパッケージツアーを作り、一人一人の観光客の皆さんにあった、それぞれの可能性を提供しています。

これらに関する必要な全ての情報は、www.barcelonaturisme.comのウェブのページに載っています。これは、バルセロナを訪問する時に新しい便宜を発見できるので是非お奨め致します。バルセロナ・ツーリスト・バス、バルセロナ・ウォーキング・ツアーそしてバルセロナ・カードが、インターネットでご購入いただける現時点で最初の商品です。また、この街のいろいろなホテルが提供する特別価格サービスのリストも手に入ります。

このウェブ・ページが、バルセロナ旅行をリモコンで計画する時の最良のツールでしょう。今年になって、この街のホテル予約について新しいサービスの提供ができました。それは、一週間の毎日ホテルの予約手続きに補助的な情報が付け加えられます。この情報によって、ホテルの場所を知る事、空港や港、高速道路、鉄道駅などへの行き方、また近くにある病院、レストラン、文化施設などが容易に知る事が出来て、旅行スケジュールを立てるのに本当に便利です。また電話、ファックス、Eメールなどでこの補助的情報の特別サービスが、特に旅行代理店などのプロの方が、直接予約されるホテルから入手できるのです。

観光客の皆さんのために

Turisme de Barcelona(バルセロナ観光センター) は、20ヶ所にインフォメーション・オフィスを設置し、係員が、観光客のバルセロナ観光に関するあらゆる種類の相談に応じています。また、バルセロナ観光局発行の観光関連の出版物や、バルセロナ・ツーリスト・バスの乗車券、バルセロナ・カード、バルセロナ・ウォーキング・ツアー、公共交通機関の回数券、BCN Original のショップの商品などの販売もしています。